

イスラム向けの旅行フェア

～マレーシア・ジョホールバル Halal Tourism Fair 2014 を視察しました～

現在ムスリム人口は 16 億人を超え、世界全人口の4分の1を占めると言われています。特にイスラム教を国教とするマレーシアや世界最大のムスリム人口を抱えるインドネシアは、経済成長が著しいことから世界のムスリム市場をけん引する存在として期待されています。観光産業においても、ムスリム向け観光は今後拡大する巨大な市場として注目を集めており、日本でも政府、自治体、企業がムスリム観光客受入環境の整備に取り組んでいます。毎年3月と9月にマレーシアで開催される国内最大の国際旅行フェア「MATTA (Malaysian Association of Tour and Travel Agent)」の JNTO ジャパンパビリオン内にもムスリム旅行者専用コーナーを設置し、ムスリムが安心して日本を訪れることができる環境の整備やPRが行われています。

この度、マレーシア・ジョホールバルで開催されたムスリム向け旅行フェア「Halal Tourism Fair 2014」を視察しましたので、報告します。

1. Halal Tourism Fair 2014 の概要

Halal Tourism Fair は 2013 年に初めて開催され、今回で2回目になります。ジョホール州政府とマレーシア文化観光省が主催し、マレーシア観光機構などの後援で行われました。出展者はマレーシア国内の旅行関係者で、マレーシア国外からの政府観光局や旅行会社などの出展がありませんでしたが、ムスリムに特化したフェアとして大勢の家族連れので賑わっていました。

会場ではメッカへの巡礼ツアーなどのムスリムに対する宗教的配慮のもと企画された商品が主に紹介されていました。訪日旅行商品を取り扱う旅行代理店も数社ありましたが、価格の安いマレーシア国内のリゾート・タイ・香港といった近場の商品が多く販売されていました。

フェアに参加したマレーシアの旅行代理店は、「日本に興味があるが食事が不安で躊躇しているムスリムが多い。日本でもムスリム受入の整備が進んでいるようだが、ハラール対応のレストランやモスクといったムスリムを迎えるための環境があることをもっとPRしてほしい。」と話していました。



2. イ オープニングセレモニーの様子 ス



旅行商品を販売する旅行会社のブース ラム圏

からの観光客誘致

マレーシア・クアラルンプールでは、年に1度 WITM (World Islamic Tourism Mart) という大規模なイスラム向けの旅行フェアが開催されています。従来は、マレーシアからの国外旅行者は中華系マレーシア人が中心でしたが、近年では、各国がイスラムへの売込みを強化し、積極的なプロモーションを行っています。イスラム国ではない日本で、ハラールフードや礼拝施設といったイスラムの厳格なルールを完璧に対応をすることは非常に難しいことですが、最近では各地でムスリムセミナーが開催されているほか、メディアやムスリムツアーを取り扱う旅行会社の招聘やムスリム向けのガイドブックの作成が進められています。引き続きムスリム観光客受入のための施設の整備を進めるのと同様に、旅行フェアの出展やメディアを使った情報の発信で、ムスリムにも親しみやすい旅行目的地としての日本をPRする機会を増やすことも必要だと思われます。

■ Halal Tourism Fair 2014 概要

会期	2014年11月28日(金)～11月30日(日) 10:00～22:00
開催場所	マレーシア・ジョホールバル (Angsana Johor Bahru Mal) 1
主催	Johor State Government・Ministry of Tourism and Culture Malaysia
後援	Johor Tourism Board・Tourism Malaysia
出展団体	19団体 (うち旅行関連10団体)

(宇佐所長補佐 宮崎県派遣)

CLAIR